

戦 評

大会名 日本スポーツマスターズ2022岩手大会

女子決勝

会場名：岩手県花巻市総合体育館

主 審：藤原 和紀(岩手)

副 審：佐藤 陽一(山形)

試合結果

栄クラブ(静岡) 2 $\left\{ \begin{array}{ccc} 21 & - & 7 \\ 21 & - & 12 \\ & - & \end{array} \right\}$ 0 日新電機(京都)

戦 評 試合時間 0時間 40分

多彩な攻撃を軸に通算5度目の優勝を狙う栄クラブと少数精鋭で決勝まで勝ち進んできた日新電機との決勝戦。

第1セット、栄クラブは宮内のサーブから連続得点で流れをつかむ。対する日新電機は小酒、林の攻撃で反撃を試みるも、栄クラブは攻撃の手を緩めずに先取する。

第2セット、後のない日新電機は、キャプテン池田を中心に粘り強い守備から一進一退の展開となるが、栄クラブの安定したレシーブとセッター稲葉の多彩なトスワークで得点を重ね、栄クラブがストレートで勝利し、優勝を飾った。

※ 7～10行にまとめること。

戦評者：安田 悠司(大阪)

岩手県バレーボール協会 審判委員会

戦 評

大会名 日本スポーツマスターズ2022岩手大会

男子決勝

会場名：岩手県花巻市総合体育館

主 審：榎谷 昌彦(兵庫)

副 審：竹見 聖司(兵庫)

試合結果

りゅうせきマスターズ(沖縄) 2 $\left\{ \begin{array}{l} 21 \quad - \quad 16 \\ 21 \quad - \quad 12 \\ \quad \quad - \end{array} \right\}$ 0 常済クラブ(茨城)

戦 評 試合時間 0時間 52分

3年ぶりに開催された日本マスターズの決勝戦は、熟練の技が随所にみられるすばらしいゲームが展開された。

第1セット、常済クラブは、18番稲葉の速攻や1番福原のアタックとブロックでリズムを作る。

対するりゅうせきマスターズは、1番高橋の鋭いアタックで応戦する。中盤も13番宮里の2本のサービスエースなど、5連続得点し勢いに乗り、セットを先取する。

第2セット、りゅうせきマスターズは勢いそのままに高橋のアタック、宮里のサービスエースが効果的に決まり、終始リードしたりゅうせきマスターズが常済クラブを寄せつけず、このセットも奪取し、初優勝を飾った。

※ 7～10行にまとめること。

戦評者：安田 悠司(大阪)

岩手県バレーボール協会 審判委員会